

2 / サウナテントであふれる村へ

4 ゆきまちサウナ® ヴィレッジがオープン

ゆきまちサウナ® ヴィレッジオープニングイベントが2月4日（土）ほろしんの森で開催されました。

ゆきまちサウナヴィレッジとは、そらち自然学校が豪雪地帯の特徴を活かした冬にサウナを楽しめる環境を毎週末提供（要予約）する事業です。

サウナテント3棟で使用する薪は風倒木や枯損木^{ふうとうぼく}を利用しており、「こころ」「からだ」「もり」ととのえることができ、サウナ利用者とほろしんの森を繋ぐ活動となっていて、この日は15名の参加者を楽しませました。

参加者からは「こんなに雪が降っている中で薄着のまま外にいられる体験ができて幸せ。」と感激の声が聞かれ、そらち自然学校の高橋芽久さんは「サウナテントは持ち込み可能なので、いつかサウナテントでいっぱいになるような村を目指したいです。」と心意気を語っていました。



2 / 毎年ありがとうございます

6 JA 北いぶき女性部沼田支部より寄贈

JA北いぶき女性部沼田支部（生田ユカリ支部長）から2月6日（月）、雑巾を寄贈いただきました。

雑巾は毎年寄贈いただいているもので、生田支部長のほか新役員4名が役場を訪れ、80枚の雑巾を横山町長へ手渡され、横山町長は「ありがとうございます。大切に使用させていただきます。」と感謝の意を伝えました。



2 / 利雪について学びました

7 沼田小学校利雪学習

全国でも先進的な取組として知られている沼田町の雪利用について学習し、地域の自然やそれを活かした地域の取組を知ってもらうことを目的に、沼田小学校（中川浩之校長）3年生を対象に利雪学習が行われました。

最初にゆめっくるで利用されている雪冷房の仕組みや、貯雪できる雪の量などについて話をした後、雪の科学館へ移動し「貯蔵している野菜はどんな種類があるか。」「どうして野菜を入れるのか。」などについて説明をし、お酒も貯蔵しているという話に児童たちは「えー！」と声をあげ驚いていました。



2/9 みんなで健康維持 楽ワザ介護教室

高齢者の冬期間における体づくりなどを目的に、「楽ワザ介護教室」を2月9日（木）暮らしの安心センターで開催し、16名が参加しました。

講師には、介護アドバイザーで町介護施設を中心に指導を受けている青山幸広氏を招き、長生きで楽しく生きる秘訣「健康寿命・いきいき寿命9カ条」について話されました。

講演後、参加者と一緒に冬に備えた転倒しない体づくりのリハビリ体操を行い、参加者は終始笑顔で今回の教室を楽しんでいました。



2/11 懐かしいウェアで楽しみました 第4回全日本（笑） オールドスタイルスキー技術交流会

1980年～90年代の用具や当時のスキーウェアを着てスキーを楽しむ「第4回全日本（笑）オールドスタイルスキー技術交流会」が2月11日（土）ASHIMOI KANKO 高穂スキー場で開催されました。

札幌や旭川、苫前町など町内外から20人が参加し、一昔前の細く真っすぐなスキー板でウェーデルンやシュテムターンなど当時の技術を使って滑る4種目で得点を競いました。

深川市から参加した60代男性は「リフト・ロッジが新しくなったことを知って、スキー用具を探して20年振りに滑りました。とても滑りやすくて当時を思い出しながら楽しく滑ることができました。」と笑顔で話されていました。



2/12 パラリンピアンが狩野亮さんが登場！ 第73回町民スキー大会

第73回町民スキー大会が2月12日（日）ASHIMOI KANKO 高穂スキー場で開催されました。

今回は、国際スキー連盟がスノースポーツの普及として一般社団法人N-linkと連携し、冬季パラリンピックアルペンスキー座位で金メダルを3個獲得した狩野亮さんが特別ゲストとして参加してくれました。

開会式で横山町長は「スノースポーツに親しみ、トップアスリートの滑りを見て刺激にしてほしいです」と話され、その後、狩野さんが頂上から滑って登場し、会場にいた全員がその滑りに圧倒されていました。

大会では、大回転競技（スキー、スノーボード）が行われ、町内外42人が参加したほか、スキー・スノーボードの無料レッスンなどが行われました。



2 / 普通救命講習会を実施しました

13 沼田消防団救命講習会を開催

災害時などの団活動において救助時の救命率の向上を図るため、2月13日（月）沼田消防団員が参加し「普通救命講習会」を開催しました。

職団員31名が参加し、訓練用人形やAEDなどを使用して、コロナ対応の心肺蘇生法・止血法・喉に異物が詰まった時の対応法など約3時間の講習を受けました。

小西克典団長は「この訓練が救命率の向上につながり、今後の団活動に活かせるよう期待しています。」と話されていました。



2 / 視察結果を発表しました

16 沼田町議会町民フォーラム

沼田町議会が主催した町民フォーラムが、健康福祉総合センターふれあいで開催されました。

24名が参加したフォーラムでは、総務民教建設常任委員会と産業福祉常任委員会が、令和3年から令和4年に視察し研究した結果をスライドにまとめ発表しました。

開会にあたり、小峯聡議長は「コロナ禍で、視察を受け入れてくれるところが少なく苦労したが、とても詳しく調査することができた。」と挨拶されました。

総務民教建設常任委員会は「地球環境対策について」、産業福祉常任委員会は「地元加工品の開発と販売の促進」をテーマに発表し、それぞれ終了後に質問が出され、参加した町民と意見交換を行いました。



2 / 全国の地酒を楽しみました

17 地酒祭り

3年ぶりとなる地酒祭りがほろしん温泉ほたる館で2月17日（金）開催されました。

北は北海道、南は沖縄県まで全国から35種類の地酒類が集められ、町内外から100名を超える参加者は、どのお酒を飲むか迷いながら全国の地酒を堪能していました。

また、豪華景品が当たるじゃんけん大会や抽選会も行われ、会場は大盛り上がりでした。



2 / 列車も満席です

18 明日萌駅冬フェスタ第2弾

石狩沼田～留萌間が3月31日で廃線となるのを前に「明日萌駅冬フェスタ第2弾」が2月18日(土)～19日(日)明日萌駅(恵比島駅)で開催されました。

会場では恒例の留萌本線グッズや沼田町の特産品が販売され、町特産品である「雪町コーヒー」が振舞われるなど、多くの賑わいを見せていました。

台湾から来た20代男性は「寂しいことだが、日本の鉄道が廃線になる度にきていて、今回の来日で4回目。今日は留萌本線にきたが、雪のある風景が素晴らしく、廃線になるのがおいしい。」と話していました。



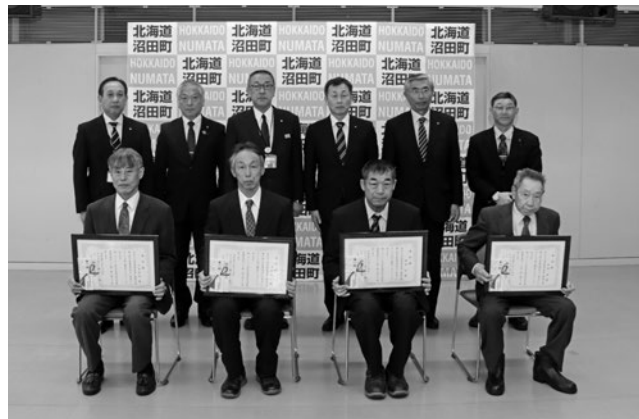
2 / 高品質米生産者へ授与

24 沼田町高品質米優良表彰式

町施設に出荷された「うるち米」品種を対象に、低たんぱくで出荷比率が3年連続100%を達成している農業者に対し、沼田町高品質米優良表彰を2月14日(金)授与しました。

この表彰は本年度から設けられ、初めてとなる今回は、山本孝司氏(沼田3)、今村克仁氏(旭町東)、澤田彰氏(共成)、中村敏光氏(共成)、長場諭氏(北竜3)の5名が表彰され、横山町長、黒田洋一組合長から、表彰状と金一封が贈られました。

横山町長は、「長年の高品質米の生産に感謝しています。これからも生産者の見本として、より多くの高品質米生産者が増えて、より沼田農業が発展していくことを願っています。」と受賞者を激励しました。



2 / めまたをサウナのイメージに

25 HOROSA～森と雪とサウナでととのう会～

沼田町の有志が募り、幅広くまちづくり事業を手掛ける「ゆきものがかり(藤村健一会長)」が主催した、「HOROSA～森と雪とサウナでととのう会～」が、そらち自然学校の協力のもと、2月25日(土)ほろしんの森で開催されました。

ゆきものがかりメンバーの堀祐介さん(北竜3)を中心に、ほろしんからサウナを広め、沼田町を盛り上げたいとHOROSAと名付け、サウナテントを体験できるイベントを実施しました。

イベントには23名が集まり、ほろしん温泉の源泉をサウナストーンにかけてロウリュウを楽しみ、雪山にダイブしたり、雪を掘って水を張ったアヴァント(水風呂)に浸かったりして満喫していました。

藤村会長は「若い人たちが企画したイベントが成功して良かった。参加者も満足してくれているようで嬉しい。豊かな自然とサウナの相性に可能性を感じている。」と話されていました。



2 雪を利雪型米貯蔵庫を整備

28 有限会社H J Yさくらへ補助金を交付

農業法人有限会社H J Yさくら（山岡禎弘代表取締役）が、雪冷熱エネルギーによる利雪型米貯蔵庫を整備したことに對して、沼田町再生可能エネルギー設備等導入支援事業補助金を交付しました。

当補助金は、ゼロカーボンシティ宣言を基本に脱炭素社会の実現を目指したカーボンニュートラルの取組について推進することを目的に、雪冷熱エネルギーなどの再生可能エネルギーを活用した設備を設置する場合に支援するものです。

2月28日（火）行われた交付式で横山町長は「雪エネルギーを活用した施設整備に感謝します。新たな雪中産品が生まれ、国内外に沼田町を知ってもらえることを期待しています。」と述べられ、山岡代表取締役は「もともと雪冷房に興味があった。まずは、米を貯蔵して“桜雪の米”というブランドとして雪冷房を知ってもらい、今後はほかの野菜の貯蔵も試して可能性を探っていきたい。」と話されていました。



3 多くの鉄道ファンで賑わい

4 ありがとう留萌本線フェスタ

3月末で廃止される明日萌駅（恵比島駅）で3月中の土日祝日に「ありがとう留萌本線フェア」（主催：旭川市鉄道雑貨の店ぽっぽや）が開催されています。

初日の3月4日（土）は、道内外から訪れた多くの鉄道ファンで賑わい、毎回違う包装紙で包まれた「明日萌駅特製弁当」などを購入していました。

埼玉県から来た50代女性は「最近好きな鉄道に乗るために毎月北海道に来ています。今晚は、ほろしん温泉ほたる館に泊まるので温泉も楽しみです。」と話していました。



3 たくさんのご来場ありがとうございました

5 ASHIMOI KANKO高穂スキー場クローズ

今シーズンからリフト・ロッジが新設され、リニューアルオープンしたASHIMOI KANKO高穂スキー場が、3月5日（日）をもって今シーズンの営業を終了しました。

雲一つない青空が広がったこの日、多くのスキーヤーやスノーボーダーが集まり、シーズン最後の滑りを楽しんだほか、沼田スキー学校主催によるクローズ検定が行われ、検定を受けている子ども達をロッジやゲレンデの下から多くの保護者が様子を見守っていました。



3

半纏を受け取り笑顔

7 中学校3年生に卒業記念半纏贈呈

今年卒業を迎える中学3年生に、横山町長から卒業記念として夜高あんどん祭りの藍染の半纏が贈呈されました。

半纏贈呈の前の、横山町長からの講話では「まず、お世話になった先生方、家族に感謝の気持ちを伝えてください。これから社会に羽ばたいて沼田を離れても、沼田・家族・友人を忘れず、皆さんの一番の応援団ということをお忘れなくください。沼田町の宝である皆さんが様々な場面で活躍することを楽しみにしています」と自身の経験を踏まえながら話されていました。



その後、横山町長から一人ずつ半纏と自分の名前が彫ってある木札を受け取った生徒達は、半纏を着た自分の姿を見て喜びの笑みがこぼれていました。

3

あいさつで明るい沼田町へ

8 あいさつ運動ポスター・標語コンクール表彰式

沼田学園学校運営協議会（岡本佳彦委員長）が主催する「あいさつ運動におけるポスター・標語コンクール」の表彰式が、3月8日（水）沼田中学校・小学校で行われました。

沼田町では、子ども達の学びや成長を地域全体で支えていくために「あいさつ運動」を推進しており、運動への意識付けとして、沼田小・中学生を対象に作品を募集しました。



「町民にあいさつの大切さを呼びかけるポスター・標語」というテーマで小学生ポスターの部83点、中学校ポスター・標語の部20点の応募があり、沼田学園学校運営協議会で審査の結果、19点が入賞し、岡本委員長から賞状と図書カードが手渡されました。



岡本委員長は「たくさんの応募ありがとうございました。どの作品も良くて選考するのが大変でした。家族・学校・地域の方々に元気に挨拶をして明るい沼田町を目指しましょう。」と述べられました。

【小1の部】（ポスター）	【小2の部】（ポスター）	【小3の部】（ポスター）	【小4の部】（ポスター）
金賞 谷本 桜さん	金賞 土田 桃子さん	金賞 伊藤 千咲さん	金賞 一戸 結愛里さん
銀賞 山本 千晶さん	銀賞 渡邊 碧海さん	銀賞 清野 陽葵さん	銀賞 藤田 帆奈さん
銅賞 梅田 栞菜さん	銅賞 平泉 詩羽さん	銅賞 岩井 昂月さん	銅賞 上野 快さん

【小5の部】（ポスター）	【中2の部】（ポスター）	【中3の部】（標語）
金賞 鵜野 遥成さん	金賞 野田 優心花さん	金賞 長井 栞奈さん
銀賞 野田 笑美菜さん		銀賞 石黒 日菜さん
銅賞 木村 琴羽さん		銅賞 多田 悠朔さん

3 / **さらなる躍進を願い**

8 JA 北いぶき青年部、スノーメッセージ作成

沼田町、秩父別町、妹背牛町で構成されている JA 北いぶき青年部（中村敏光部長）が旧沼田厚生クリニック跡地に、スノーメッセージを作成しました。

スノーメッセージは、毎年北いぶき管内の町で作成されており、今年は沼田町が会場で行われました。

作業は2日間にかけて行われ、3月8日（水）には JA 北いぶき青年部員 37 名が集まり、4m×8m の雪壁に「躍進」の文字が作り出されました。

中村部長は「今年の JA 空知青年部連合会のテーマが“躍進”ということで、北いぶき管内の町がさらに躍進できるように願いを込めて作成しました。」と話されていました。



3 / **卒業おめでとう**

11 沼田学園沼田中学校第55回卒業証書授与式

沼田学園沼田中学校（里館幹彦校長）の第 55 回卒業証書授与式が、3月11日（土）に沼田中学校で執り行われました。

卒業生の名前が順番に呼ばれると、里館校長から卒業生一人一人に卒業証書が渡され、生徒の大きくなった姿に保護者らはカメラ片手に今までの成長を思い起こしていました。

最後に卒業生を代表して多田悠朔さんから「中学校での経験は、これからの人生の道しるべになると思います。みんな進む方向は違うかもしれませんが、将来誇らしい報告ができるようがんばります。」と挨拶をされました。



まちの話題を募集しています

「まちの話題」などがございましたら、町民の皆様の情報をお待ちしております。

ご気軽に総務財政課広報情報グループまでご連絡ください。

○お問合せ先

総務財政課広報情報グループ TEL : 0164-35-2111
FAX : 0164-35-2393